

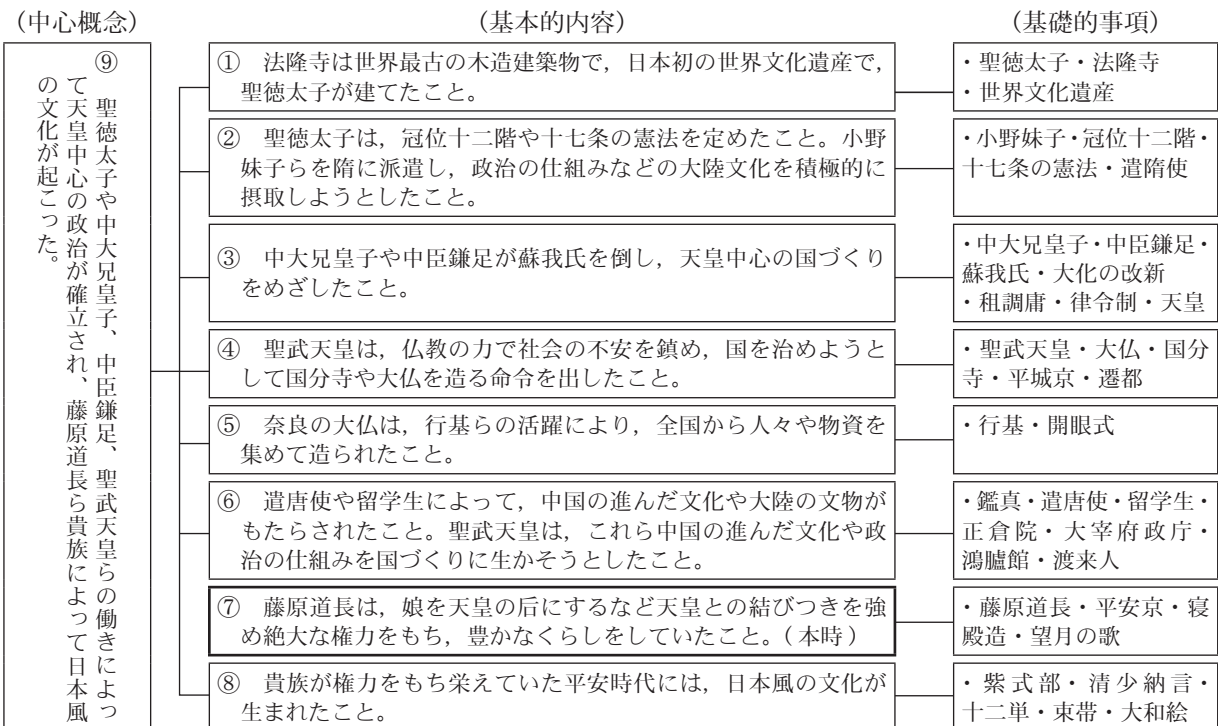
# 社会科学習指導略案

6年3組 33名 指導者 柳田健一

本授業では、以下の検証を行うものである。  
 本授業での主体性を伸ばすために、「つかむ・見通す」過程において、一人一人に考えをもたせる調べ学習の時間を設定するとともに、「一人・グループ・みんな」の学習形態を工夫し、「子どもによる司会・板書」を中心にした「子どもと進める授業」を行うことは有効であるか。

## 1 小単元 天皇中心の国づくり

### 2 指導計画 (概念構造図)



### 3 本 時 (7/9)

#### (1) 目 標

藤原氏が絶大な権力を握るようになった理由を考えると同時に、当時の貴族のくらしの様子を屋敷の想像図や食事などの資料を活用して調べ、読み取ることができるようにする。

#### (2) 評価規準

望月の歌や家系図から藤原氏が権力を握った理由を考えると同時に、屋敷の想像図や食事などの資料を活用して、当時の貴族の豊かなくらしの様子を読み取っている。 【観察・資料活用の技能】

#### (3) 指導に当たって

本時は、小単元全体における「調べる」過程の第5時である。藤原道長を中心とした貴族が、天皇との血縁関係を築くことで政治の実権を握るようになったことや貴族の豊かなくらしの様子を、様々な資料を活用して調べ、読み取らせたい。

まず、「つかむ・見通す」過程において、藤原道長が大きな力をもつことになった理由を全体で考えさせる。その際、道長の三女威子が後一条天皇の皇后になったときの祝いの席の想像画と藤原氏の家系図を活用して調べさせ、娘を天皇の后にするなどして、天皇との結びつきを強くしたことに気付かせたい。そこから、「権力をもった道長ら貴族がどのようなくらしをしていたか。」という学習問題を立てる。

つぎに、「調べる」過程から「まとめる・生かす」過程においては、貴族のくらしの様子を寝殿造の想像図を活用して、個やグループ、全体と学習形態を工夫しながら調べ、「子どもによる進行」を中心にまとめさせる。その際には、調べる前に予想した「〇〇なくらし」をキーワードに、貴族と庶民の食事を比較して考えたり、くらしにかかわる「衣食住」について項目ごとにまとめたりすることで、考えの根拠が資料をもとに述べられるように促したい。

過程	時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	教材等
つかむ・見通す	3 10	みんなで	<p>1 司会団が、前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奈良時代には、聖武天皇を中心に、天皇中心の国づくりが行われたぞ。</li> <li>仏教をはじめ、大陸の文化が多く伝わったぞ。</li> </ul> <p>2 教師の補説から、学習問題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都が平城京から平安京に変わって、時代が奈良から平安時代に変わったのか。</li> <li>貴族の藤原氏は、なぜ、大きな権力をもつことができたのかな。</li> </ul> <p>大きな権力をもった貴族は、どのようなくらしをしていたのだろうか。</p> <p>3 予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>豊かなくらし ・ ぜいたくなくらし</li> <li>恵まれたくらし ・ にぎやかなくらし</li> <li>めんどろなくらし ・ 便利なくらし など。</li> </ul>	<p>用語カード</p> <p>日本地図</p> <p>祝いの席の想像画</p> <p>藤原氏の家系図</p> <p>望月の歌</p>
調べる	5 10	一人で グループで	<p>4 一人で調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衣食住で分けて調べるといいな。</li> <li>貴族でない人たちと比べてみると、どんなくらしだったか分かるぞ。</li> </ul> <p>5 グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>衣：男の人は東帯，女の人は十二単を着ていたよ。重たそう。</li> <li>食：鯛や白米，蘇というチーズも食べているよ。豪華な食事だ。</li> <li>住：寝殿造という大きなやしきに住んでいた。豪邸だ。</li> <li>和歌や蹴鞠，雛祭りや七夕などがあつた。</li> </ul>	<p>学習シート</p> <p>短文カード (ホワイトボード)</p>
まとめる・生かす	15 2	みんなで	<p>6 みんなで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庶民と比べると、ぜいたくなくらしといえそうだ。</li> <li>雛祭りや七夕，相撲などは、今の私たちの生活にも受け継がれている行事や風習だな。</li> </ul> <p>7 司会団を中心に、まとめる。</p> <p>平安時代の貴族は、大きなやしきに住み、ぜいたくな食事をするなど豊かなくらしをしていた。また、ひな祭や七夕，節分など、今に残る行事や風習を行っていた。</p> <p>8 教師の補説を聞く。</p>	<p>短文カードに関連した資料</p>